

# 第1回宝くじ活性化検討会 参考資料

平成23年10月13日  
総務省自治財政局

・平成23年度宝くじ発売計画	1
・平成23年度発売計画案（復興くじ対応版）	2
・宝くじ商品の説明	3
・宝くじの運営について	4
・地方財政との関係（地方財政計画ベース）	5
・最近1年間の「ジャンボ宝くじ」の購入者当たり平均購入枚数の推移	6
・ロト6の購入者当たり平均購入金額	7
・宝くじ購入パターン（最近1年間の購入パターン）	8
・宝くじの購入場所	9
・宝くじの購入場所の選択理由	10
・宝くじ、公営競技、中央競馬、サッカーくじの売上額推移	11
・宝くじ・公営競技・サッカーくじの実効還元率	12
・平成23年度宝くじ事業の見直しについて（概要）	13
・諸外国の富くじ制度の概要	14

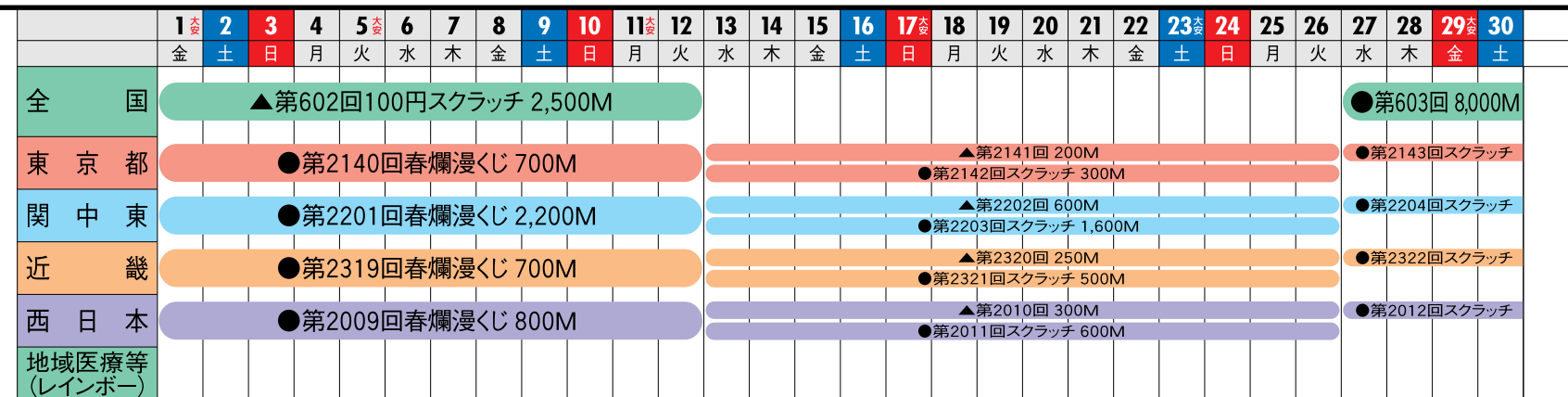
# 平成23年度宝くじ発売計画

(単位:百万円、%)

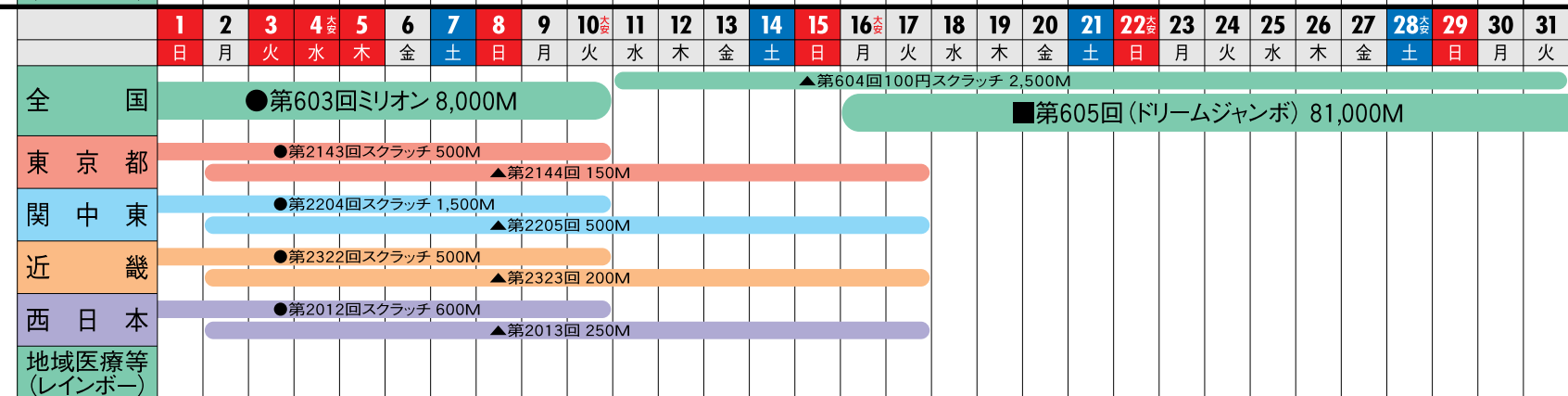
ブロック別 宝くじ名称	発売主体		23年度		対前年度比		22年度		
			回数	金額	増減額	伸率	回数	金額	
全国 自治 宝くじ	大型 くじ	3 ジ ヤ ン ポ	ドリーム	1	81,000	△ 21,000	△ 20.6	2	102,000
			ドリーム	1	81,000	0	0.0	1	81,000
			ミリオン			△ 21,000	皆減	1	21,000
			サマー	2	102,000	△ 15,000	△ 12.8	2	117,000
			サマー	1	78,000	△ 21,000	△ 21.2	1	99,000
			1000万サマー	1	24,000	6,000	33.3	1	18,000
			年末	1	198,000	△ 24,000	△ 10.8	1	222,000
		計	4	381,000	△ 60,000	△ 13.6	5	441,000	
		グリーン	1	51,000	0	0.0	1	51,000	
		オータム	1	39,000	0	0.0	1	39,000	
	合計	6	471,000	△ 60,000	△ 11.3	7	531,000		
	通常くじ	10	37,800	△ 18,400	△ 32.7	17	56,200		
	数字選択式 宝くじ	ナンバーズ	520	99,320	3,320	3.5	518	96,000	
		ミニロト	51	42,483	483	1.2	52	42,000	
		ロト6	109	253,098	59,098	30.5	52	194,000	
		合計	680	394,901	62,901	18.9	622	332,000	
	合計	696	903,701	△ 15,499	△ 1.7	646	919,200		
ブロック くじ	東京都	東京都	37	12,650	△ 9,350	△ 42.5	40	22,000	
	関中東	1道22県10市	37	46,300	△ 6,300	△ 12.0	41	52,600	
	近畿	2府4県4市	37	16,700	△ 5,500	△ 24.8	42	22,200	
	西日本	17県4市	37	20,800	△ 4,300	△ 17.1	41	25,100	
地域医療等振興 自治宝くじ	栃木県	地域医療等	5	10,500	△ 2,540	△ 19.5	9	13,040	
東日本大震災復興宝くじ			1	30,000	30,000	皆増	—	—	
東日本大震災復興東京都宝くじ			5	2,500	2,500	皆増	—	—	
口蹄疫復興宝くじ			1	5,000	5,000	皆増	—	—	
総合計			856	1,048,151	△ 5,989	△ 0.6	819	1,054,140	

# 平成23年度発売計画案 (復興くじ対応版)

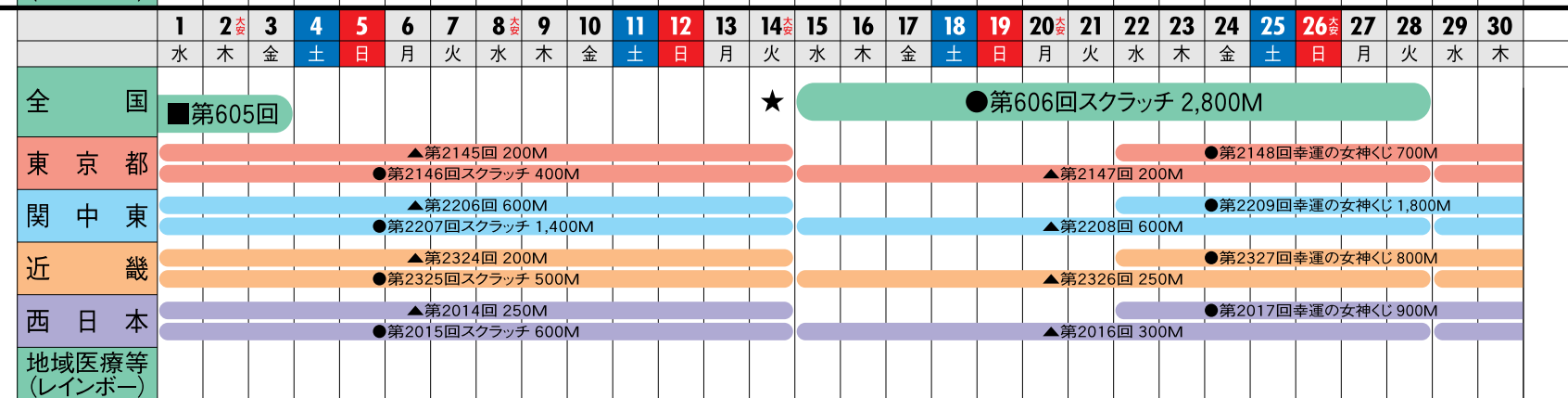
# 4



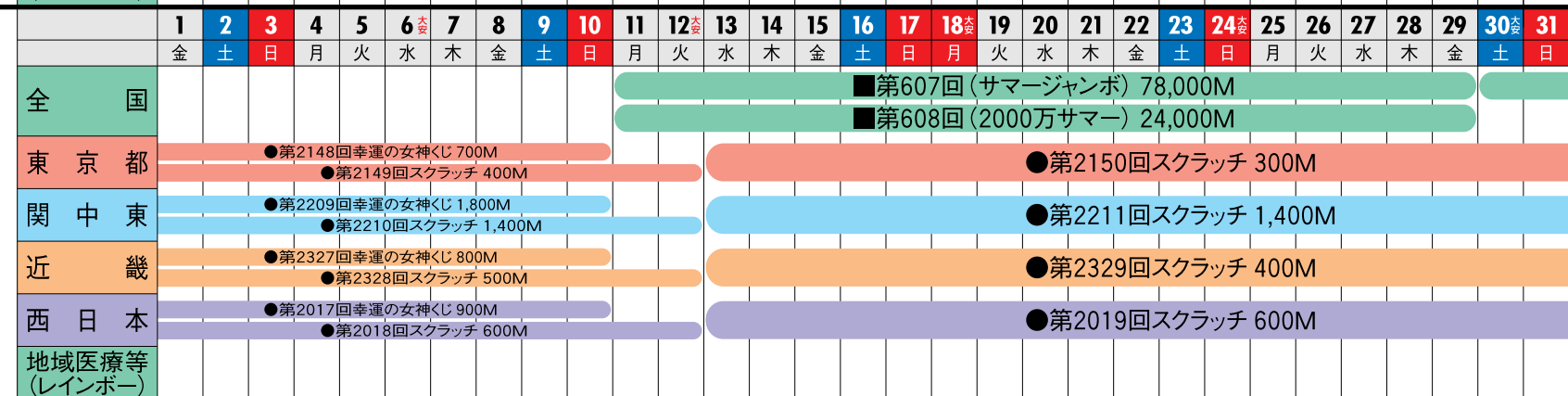
# 5



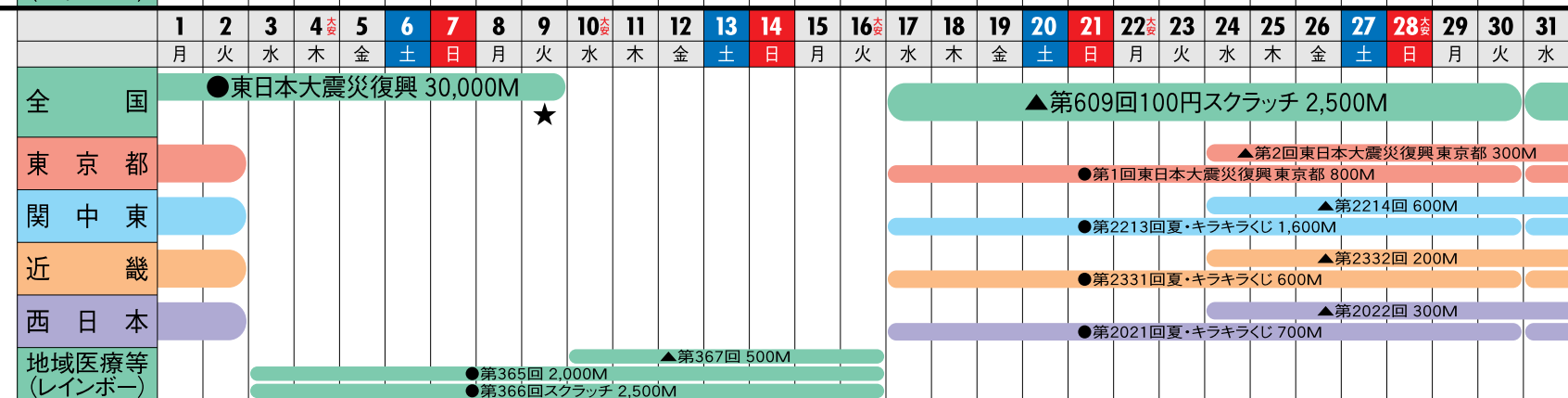
# 6



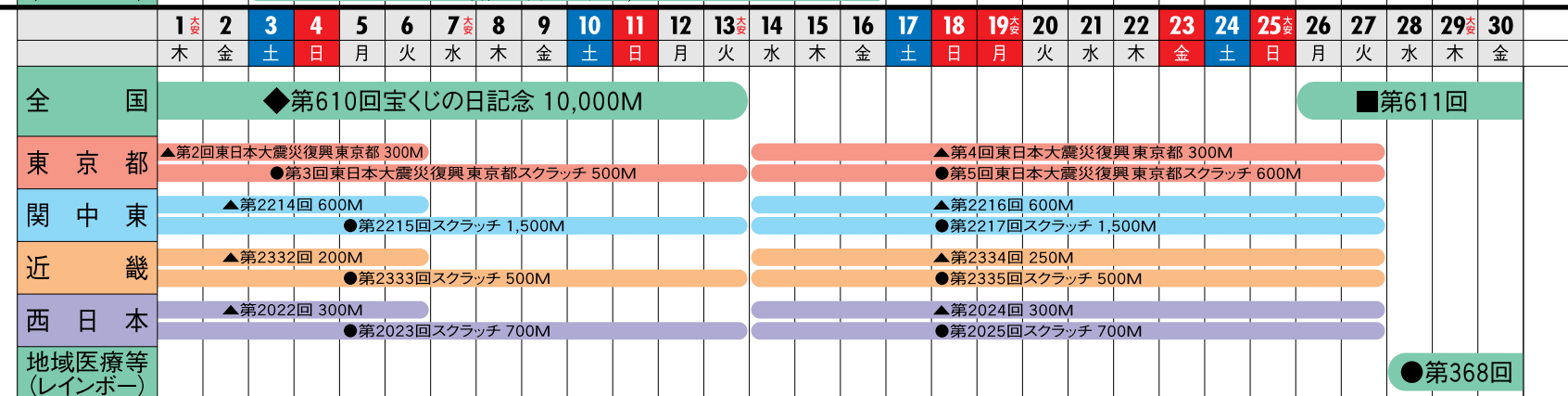
# 7



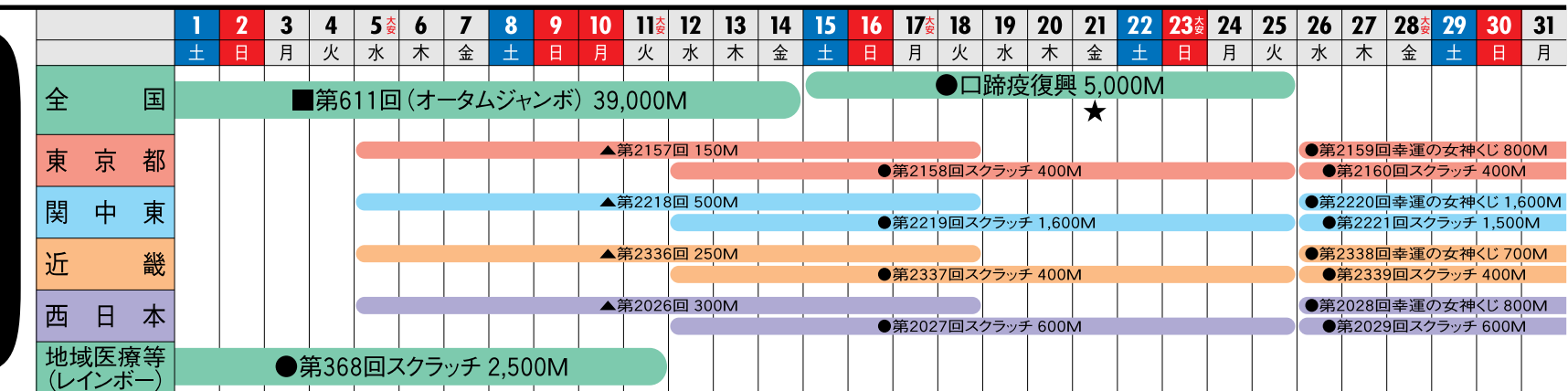
# 8



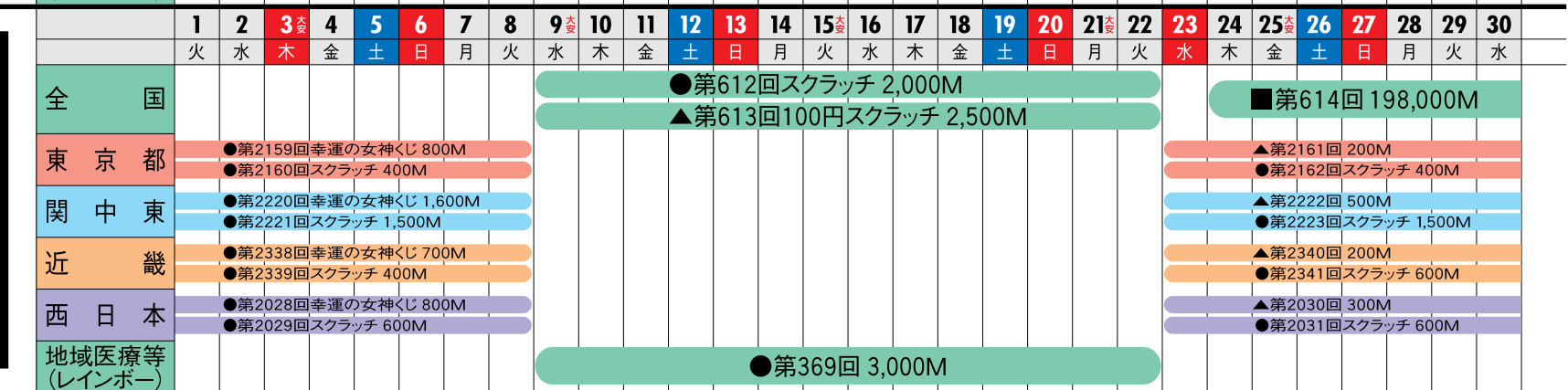
# 9



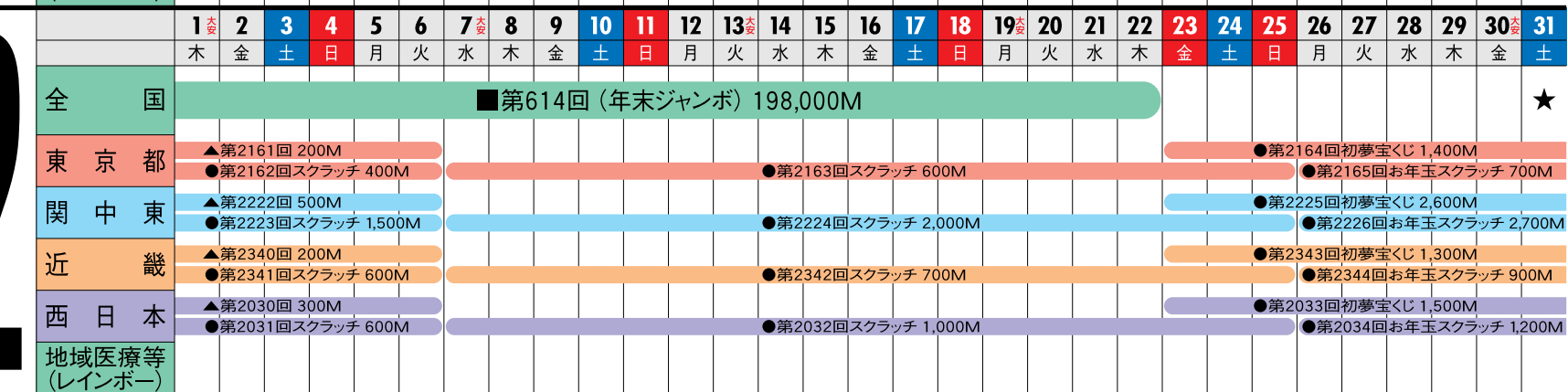
# 10



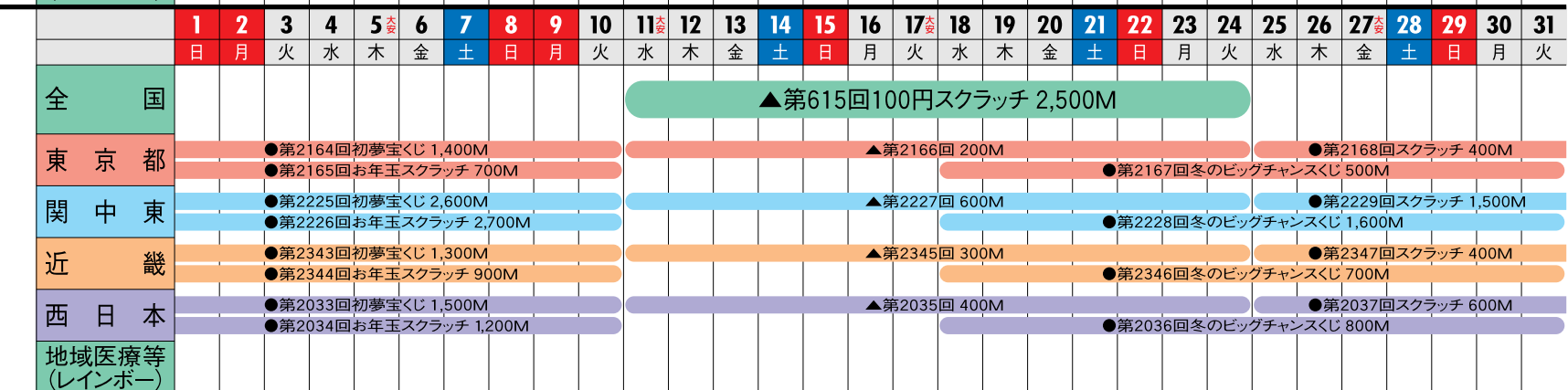
# 11



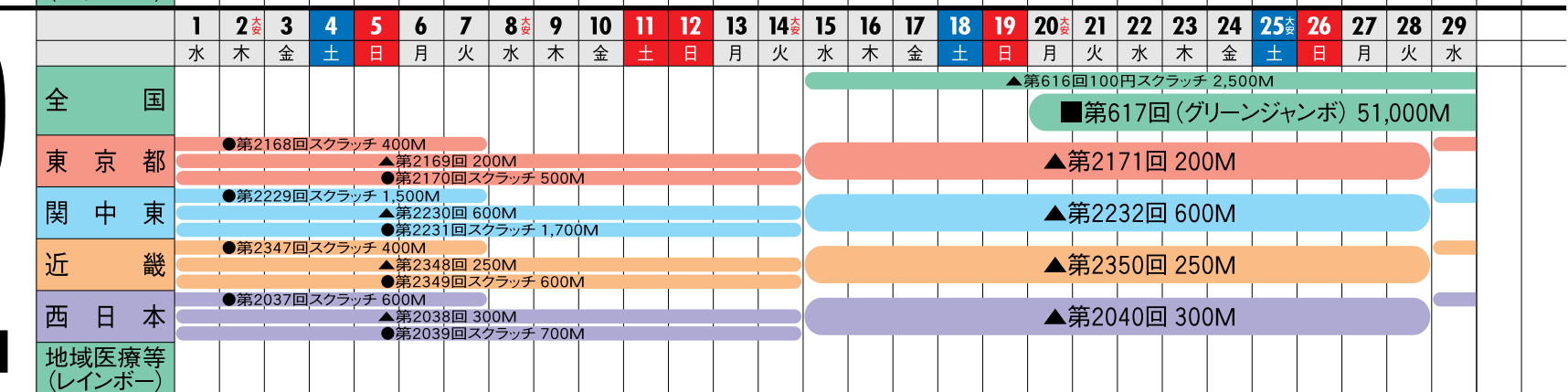
# 12



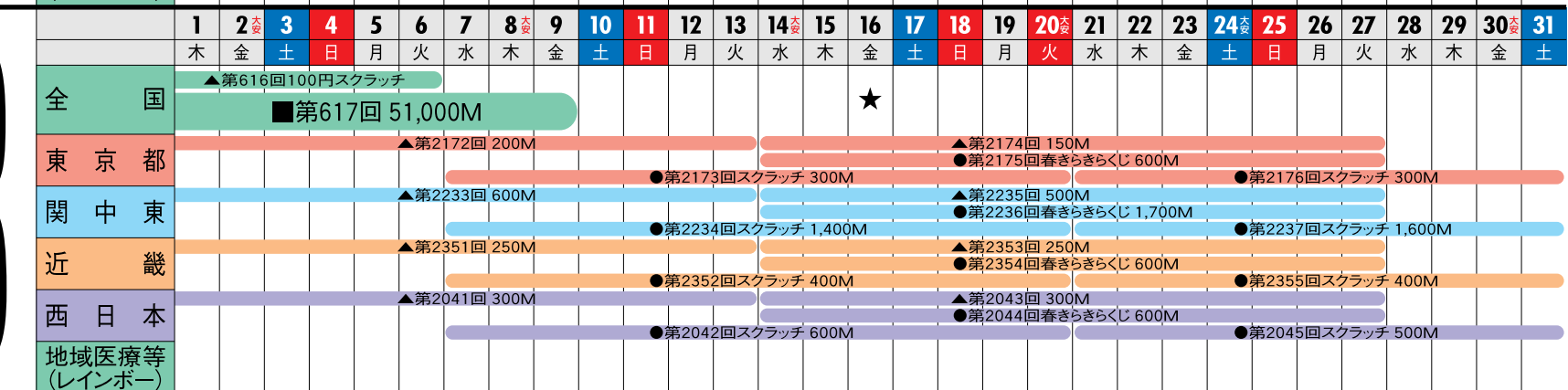
# 1



# 2



# 3



## 宝くじ商品の説明

### 数字選択式宝くじ

- ナンバーズ** 購入者が順序をつけて選んだ数字と抽せんされた数字の列とを比較し、申し込みのタイプに応じて両者の一致の有無により当せんが決まるくじ。  
3個の数字を選ぶ「ナンバーズ3」と4個の数字を選ぶ「ナンバーズ4」がある。
- ミニロト** 1から31までの数字の中から異なる5個の数字を選び、その5個の数字とボーナス数字1個を合わせた6個の抽せん数字と一致している個数によって当せんが決定されるくじ。
- ロト6** 1から43までの数字の中から異なる6個の数字を選び、その6個の数字とボーナス数字1個を合わせた7個の抽せん数字と一致している個数によって当せんが決定されるくじ。  
当せん金を次回に繰り越す「キャリーオーバー制」を導入。

### スクラッチ

- スクラッチ** 自治宝くじのスクラッチオフ形式のインスタントくじの商品名。  
被封くじ(くじの結果を記してある部分が被封又は被覆されているくじ)の一形式で、覆って見えないようにしてある部分を硬貨の縁などで削り、当せんを知る形式のくじ。

# 宝くじの運営について

- 宝くじの運営については、
  - ① 全国くじについては、地方自治法第 252 条の 2 の規定に基づく「全国自治宝くじ事務協議会」を設置し、全国くじの発売の事務を共同して管理及び執行。
  - ② ブロックくじについても同様に協議会を設置し発売の事務を共同して管理及び執行。（東京都を除く。）

## 協議会の 1 年の流れ (全国協議会の例)

- 5 月 前年度協議会決算  
前年度発売実績・委託経費
- 10 月 翌年度発売計画  
翌年度宝くじ資金運用計画  
(12月10日までに総務省に発売計画を提出)
- 12 月 翌年度宝くじ発売事務委託経費
- 3 月 翌年度協議会予算  
役員を選任（隔年）

	全国くじ	ブロックくじ		
	全国自治宝くじ事務協議会	関東・中部・東北自治宝くじ事務協議会	近畿宝くじ事務協議会	西日本宝くじ事務協議会
構成団体	47 都道府県 +19 指定都市	23 道県 +11 指定都市	6 府県 +4 指定都市	17 県 +4 指定都市
会長	東京都知事	神奈川県知事	大阪市長／大阪府知事（2年ごとに交代）	福岡県知事
委員 (各団体の担当課長)	9 名（7 地区×1 名+指定都市代表+事務局長）	8 名（4 地区×2 名）	10 名（各団体 1 名）	21 名（各団体 1 名）
監事	2 名	2 名	2 名	2 名
事務局長	東京都財務局主計部長	神奈川県政策部財政課長	大阪市財政局財務部資金担当課長／大阪府総務部財政課長	福岡県総務部財政課長
備考	年 4 回開催	年 2 回開催（総会×1+委員のみ出席×1）	年 3 回開催	年 2 回開催

(注) ブロックくじのうち東京都くじは東京都が、地域医療等くじは栃木県が実施。

# 地方財政との関係(地方財政計画ベース)

## 地方財政計画歳入歳出一覧

### 【歳入】

区分	平成23年度 (A)	平成22年度 (B)	増減額 (A)-(B) (C)	増減率 (C)/(B)
地方税	334,037	325,096	8,941	2.8
地方譲与税	21,749	19,171	2,578	13.4
地方特例交付金	3,877	3,832	45	1.2
地方交付税	173,734	168,935	4,799	2.8
国庫支出金	121,745	115,663	6,082	5.3
地方債	114,772	134,939	△ 20,167	△ 14.9
使用料及び手数料	14,279	13,126	1,153	8.8
雑収入	40,861	40,506	355	0.9
計	825,054	821,268	3,786	0.5
一般財源	594,990	594,103	887	0.1
実質的な地方交付税	235,327	246,004	△ 10,677	△ 4.3

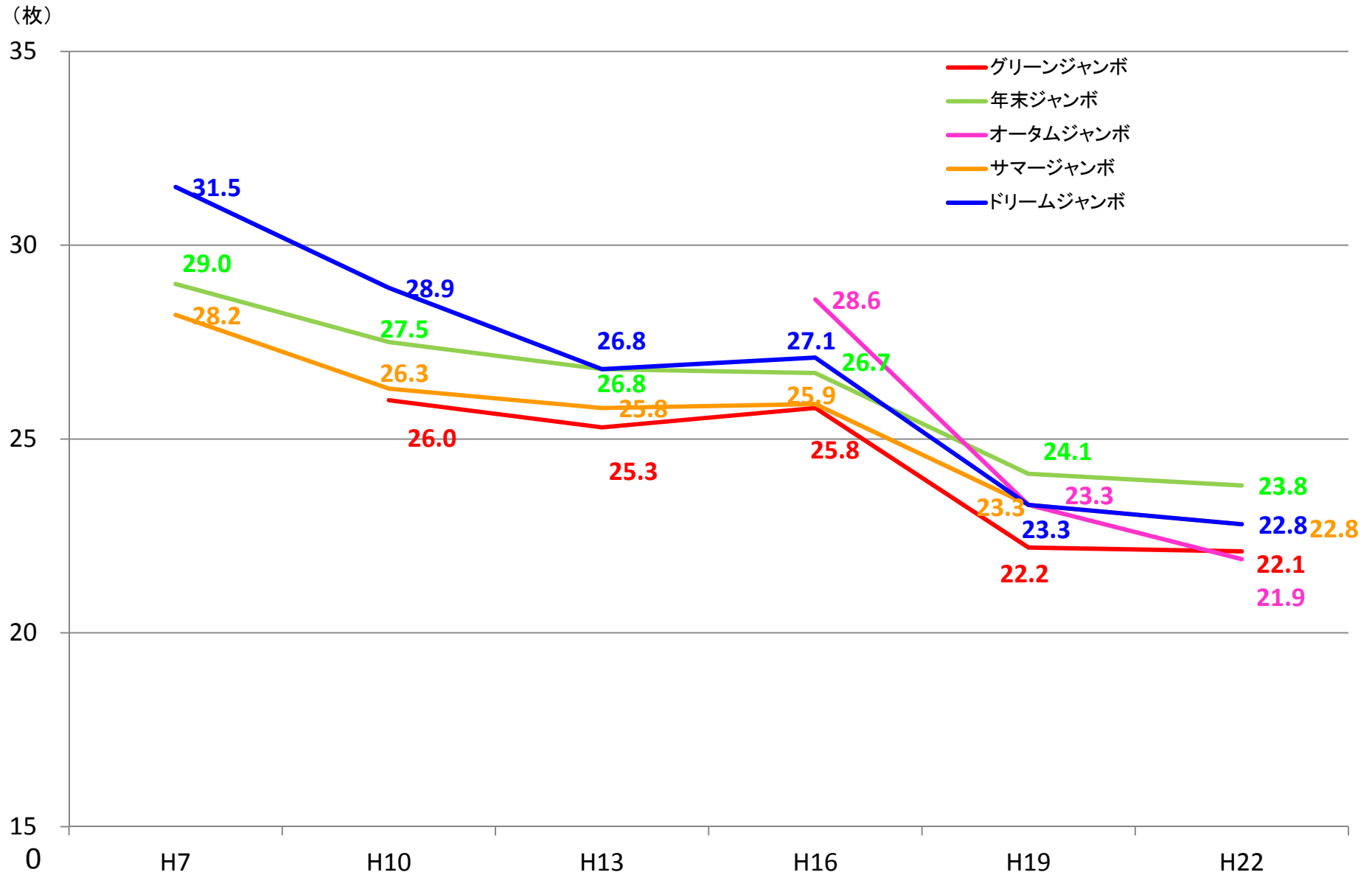
### 【歳出】

区分	平成23年度 (A)	平成22年度 (B)	増減額 (A)-(B) (C)	増減率 (C)/(B)
給与関係経費	212,694	216,864	△ 4,170	△ 1.9
一般行政経費	308,226	294,331	13,895	4.7
地方再生対策費	3,000	4,000	△ 1,000	△ 25.0
地域活性化・雇用等対策費	12,000	9,850	2,150	21.8
公債費	132,423	134,025	△ 1,062	△ 1.2
維持補修費	9,612	9,663	△ 51	△ 0.5
投資的経費	113,032	119,074	△ 6,042	△ 5.1
公営企業繰出金	26,867	26,961	△ 94	△ 0.3
不交付団体水準超経費	7,200	6,500	700	10.8
計	825,054	821,268	3,786	0.5
地方一般歳出	668,313	663,289	5,024	0.8

宝くじの収益金を含む



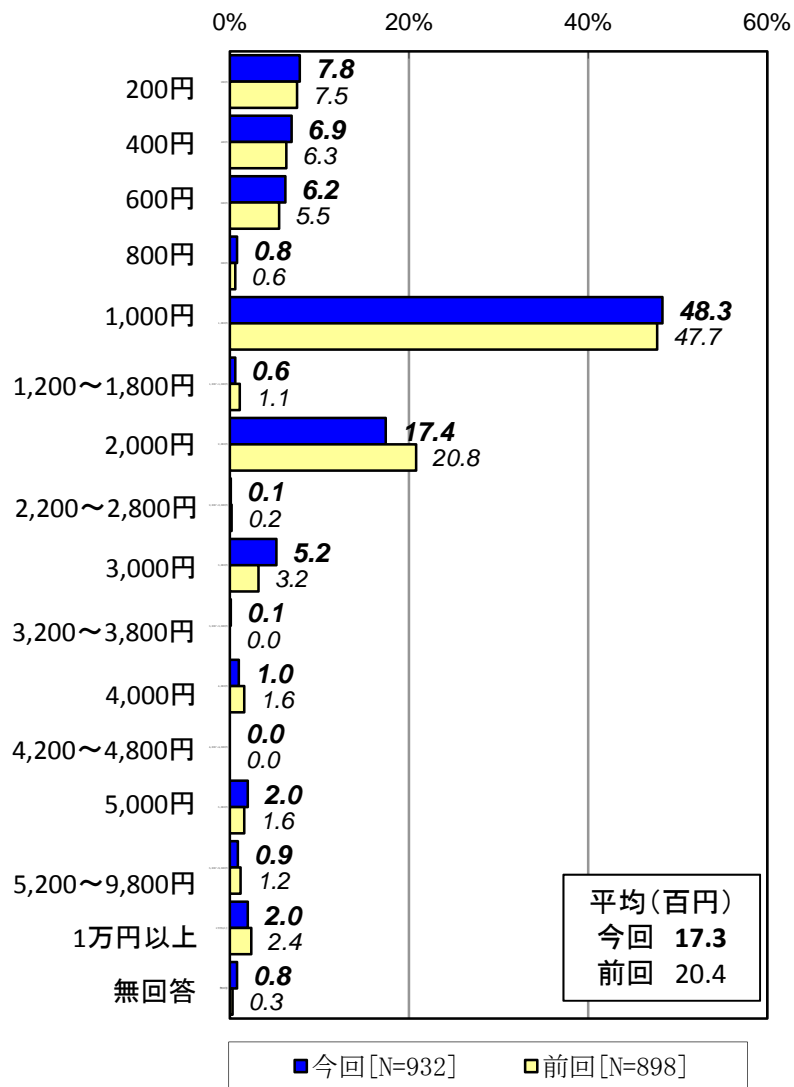
# 最近1年間の「ジャンボ宝くじ」の購入者当たり平均購入枚数の推移



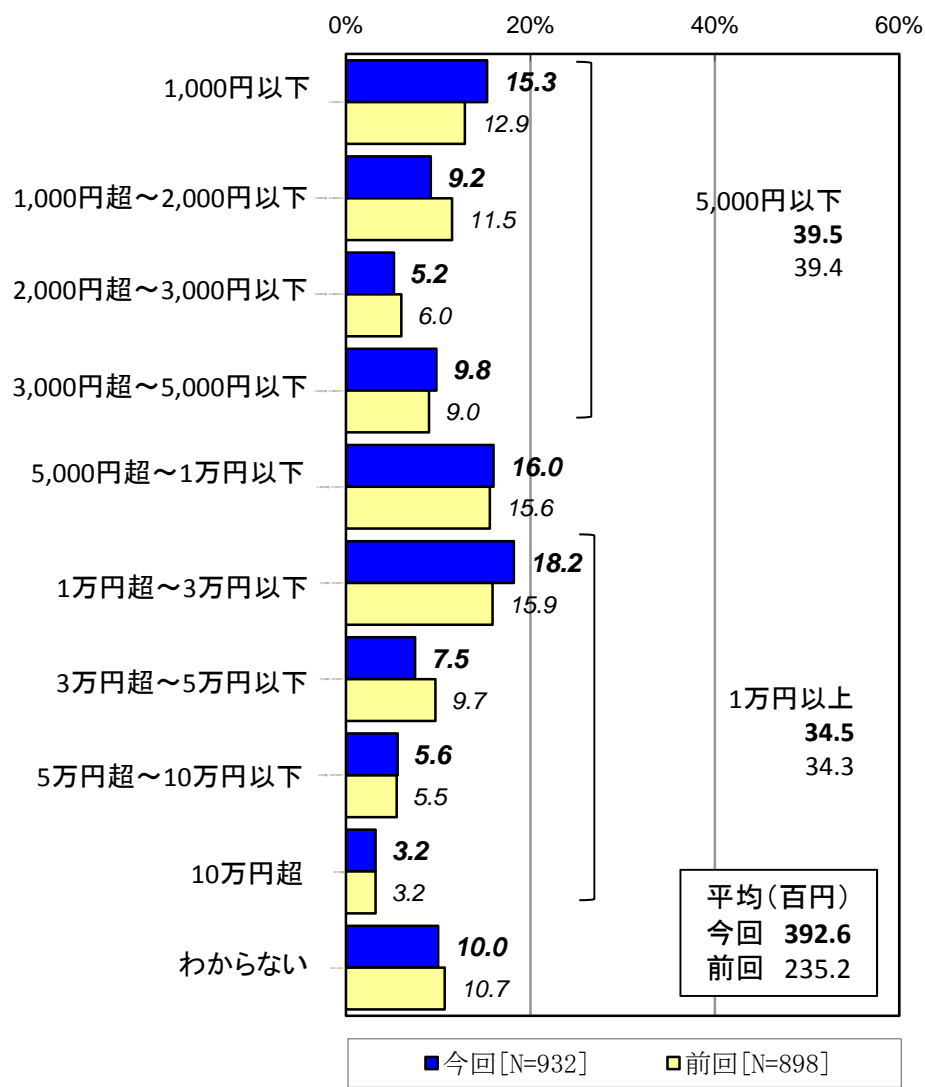
H10から「グリーンジャンボ」、H16から「オータムジャンボ」が加わる。

# ロト6の購入者当たり平均購入金額

1回あたりの「ロト6」購入金額



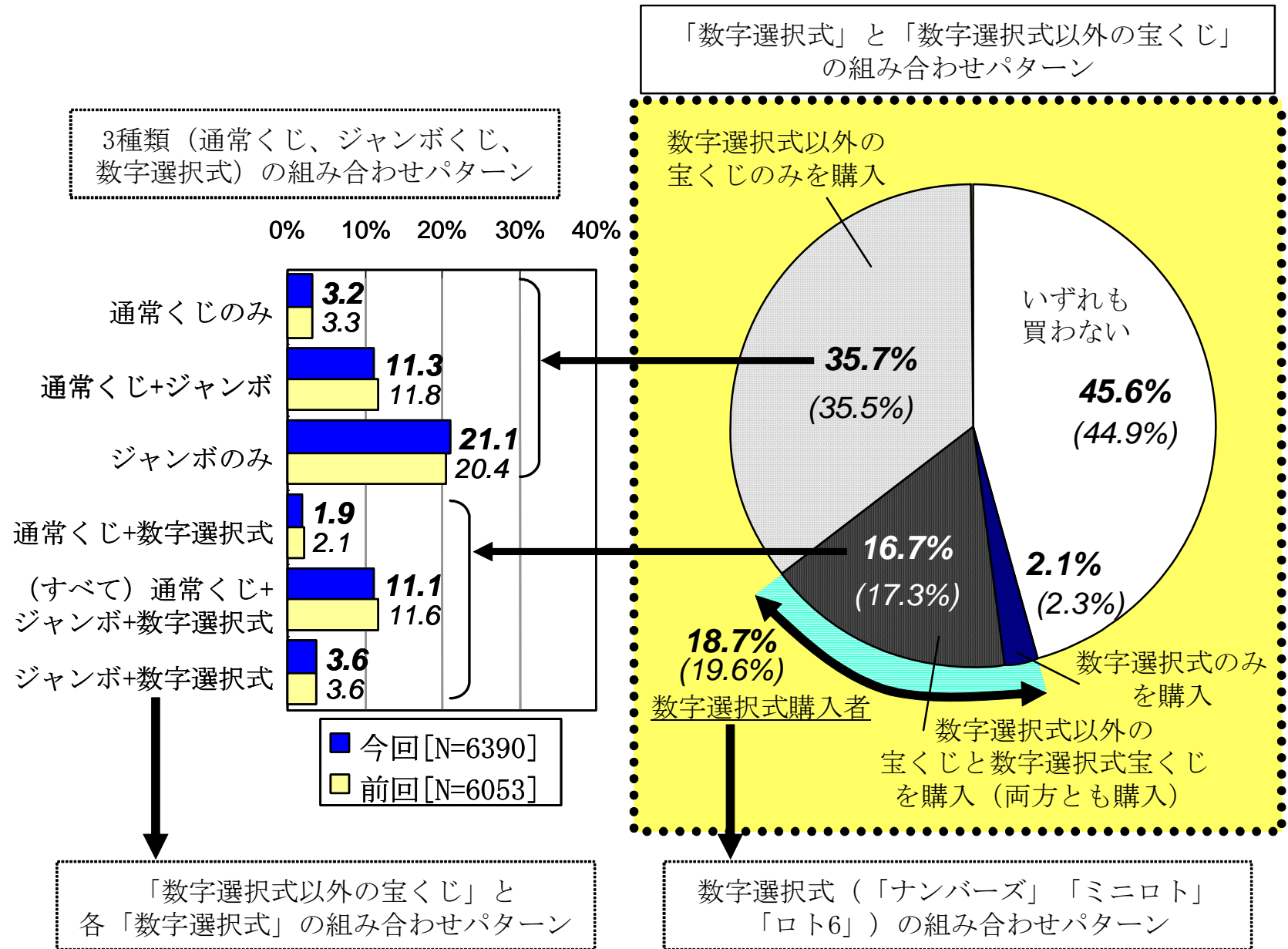
最近1年間の「ロト6」購入金額





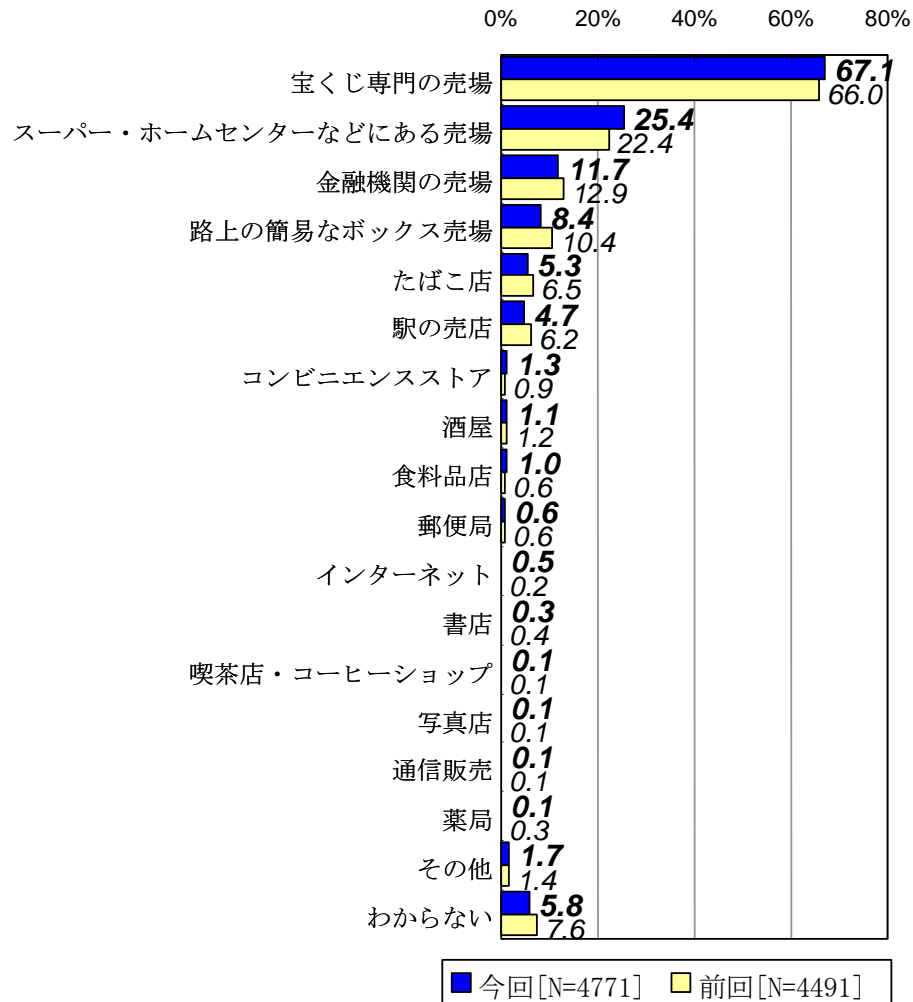
# 宝くじ購入パターン（最近1年間の購入パターン）

宝くじ購入パターン（最近1年間の購入パターン） [N=6390] （ ）内は前回のデータ

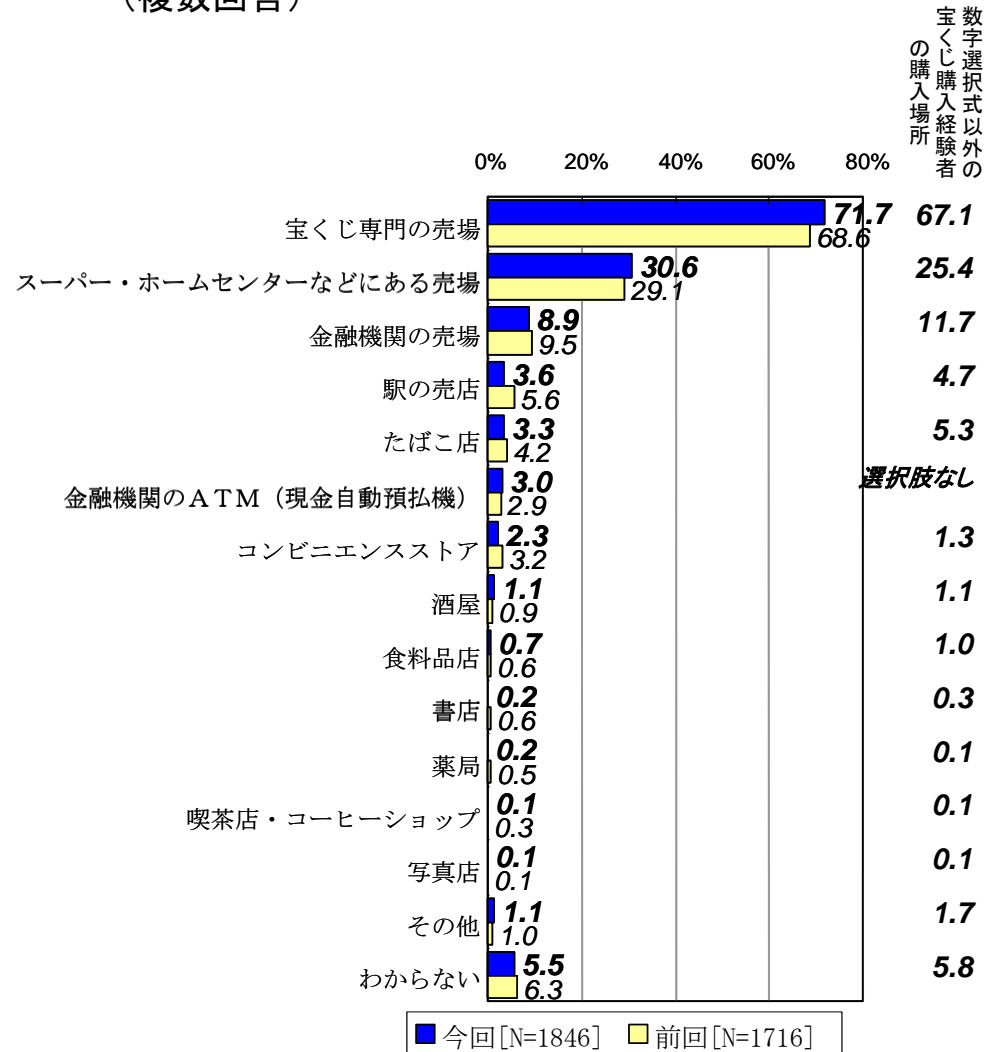


# 宝くじの購入場所

## 1. 宝くじ（数字選択式以外）購入場所 [N=購入経験者]（複数回答）

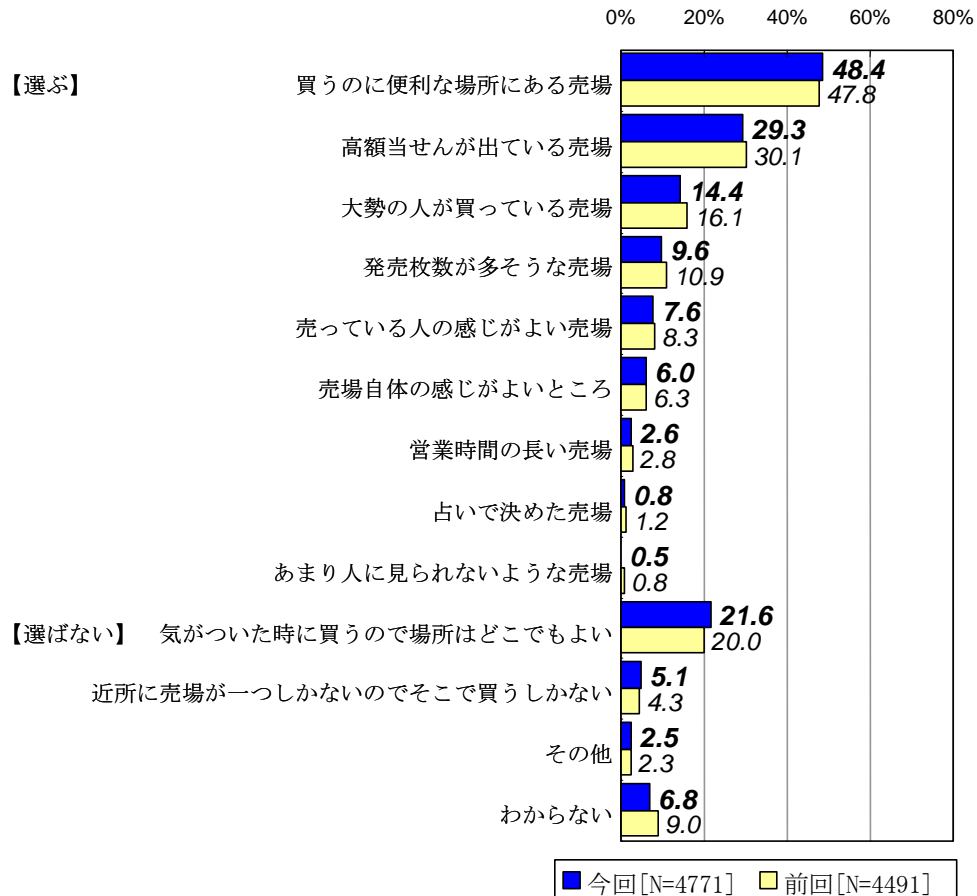


## 2. 数字選択式宝くじの購入場所 [N=購入経験者]（複数回答）

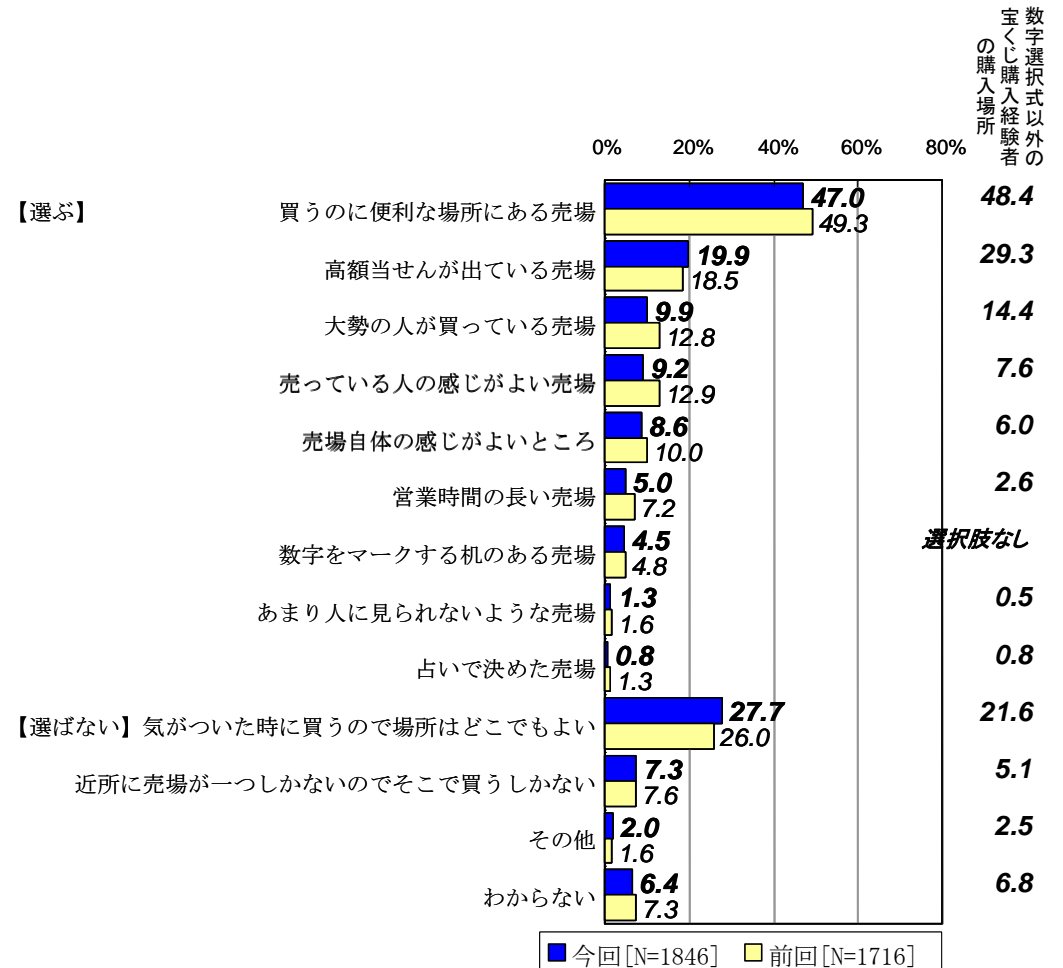


# 宝くじの購入場所の選択理由

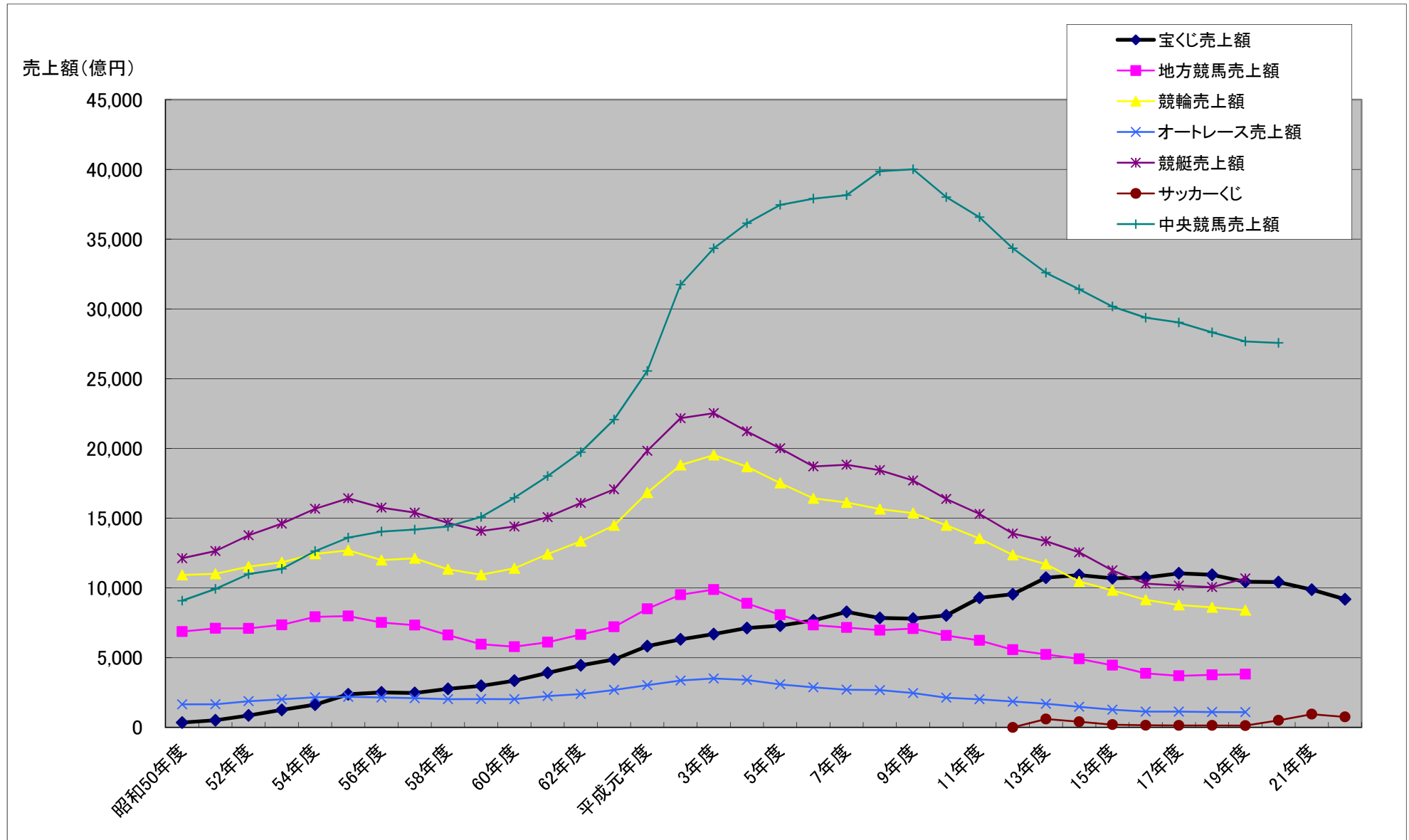
## 1. 宝くじ（数字選択式以外）の購入場所の選択理由 [N=購入経験者]（複数回答）



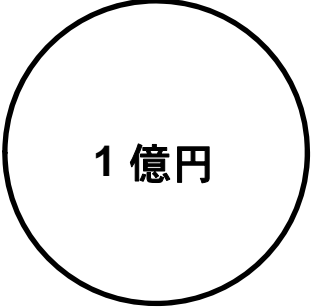
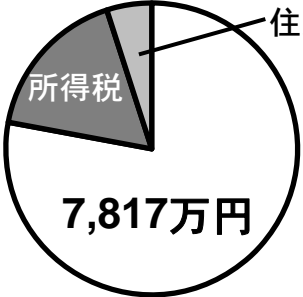
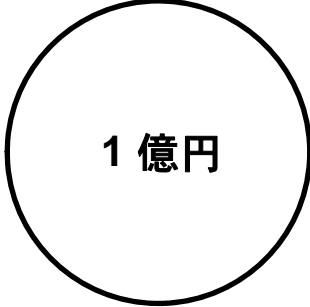
## 2. 数字選択式宝くじの購入場所の選択理由 [N=購入経験者]（複数回答）



# 宝くじ、公営競技、中央競馬、サッカーくじの売上額推移



# 宝くじ・公営競技・サッカーくじの実効還元率

	宝くじ	公営競技 (地方競馬、競輪、オートレース、競艇)	サッカーくじ
<b>当せん金率 (A)</b>	<b>45.7 %</b> 売上 1兆419億円 当せん金 4,758億円	<b>74.8 %</b> 売上 2兆2,492億円 払戻金 1兆6,814億円	<b>50.0 %</b> 売上 897億円 払戻金 449億円
<b>1億円当選時の受取額 (還元率) (B)</b>	 <p>1億円</p> <p><b>100 %</b></p>	 <p>7,817万円</p> <p><b>78.2 %</b></p>	 <p>1億円</p> <p><b>100 %</b></p>
	当せん金付証票の当せん金品については、所得税を課さない。 (当せん金付証票法第13条)	課税標準（一時所得） （1億円－100万円（必要経費＝当たり馬券購入費）－50万円（特別控除額））×1/2＝4,925万円 〔 所得税（累進税率） 1,690万円 住民税（10%） 493万円         〕	払戻金については、所得税を課さない。（スポーツ振興投票の実施等に関する法律第16条）
<b>実効還元率 (A)×(B)</b>	<b>45.7 %</b>	<b>58.5 %</b>	<b>50.0 %</b>

注) 1. 宝くじは受託銀行調べ、公営競技は各施行者協議会調べ、サッカーくじは（財）日本スポーツ振興センター調べによる。  
2. いずれもH20年度数値。

# 平成23年度宝くじ事業の見直しについて(概要)

平成22年12月17日  
全国自治宝くじ事務協議会

- 平成22年7月以降、総務省の「宝くじ問題検討会」及び全国自治宝くじ事務協議会の「普及宣伝事業検証PT」において、宝くじ事業の見直しについて検討を重ね、方向性を決定。
- 平成23年度の宝くじ事業においては、これまで議論を進めていた事項を含め、以下の見直しに着手。

## 1 普及宣伝事業をゼロベースで見直し、「社会貢献広報事業」として再構築

### (1) 事業費の大幅削減

- 社会貢献広報費は128億円(②1 決算 267億円)
  - ・ 日本宝くじ協会 ②1 決算 174億円 ⇒ ②3 予算 41億円
  - ・ 自治総合センター ②1 決算 93億円 ⇒ ②3 予算 87億円  
うち両団体の公益法人向け助成事業  
②1 決算 54億円 ⇒ ②3 予算 27億円 (日本宝くじ協会のみ)  
(対象が公務員だけのものや団体の単なる事業紹介のような冊子・DVDは対象外)
- 各事業の役割分担の明確化と資金の流れの簡素化
  - ・ 発売団体向け助成⇒全廃  
(収益金で行う事業を活用した広報活動へ転換)
  - ・ 公益法人向け助成⇒半減  
(公益性と広報効果の観点から検証を徹底し再構築)
  - ・ 一般市町村向け助成⇒総額維持  
(住民に身近な広報効果。コミュニティ助成中心)

### (2) 全国自治宝くじ事務協議会のコントロール強化

- 全国自治宝くじ事務協議会としての監督体制強化
  - ・ 協議会内に「社会貢献広報監督PT」を設置し、事前に基準・方針を策定、事後に検証する仕組みを導入。
  - ・ 検証に当たっては、第三者の意見を採用。
- 再委託のあり方も含め仕組み全体について、3年毎に定期的な見直し。

## 2 当せん金の拡充

- 宝くじファンへの還元による売上げ向上
  - ・ 今回の見直しにより捻出される財源の一部を宝くじファンへ還元。
  - ・ ジャンボくじの商品性を高めることを優先。  
(1等の当せん金額引上げ、中間賞金の充実など)

## 3 緊急政策課題対応のための新しい宝くじの仕組み

- 大規模災害をはじめ緊急的な政策課題に直面する特定の地方公共団体がより機動的に宝くじによる資金調達をできるよう、新たな仕組みを創設。
  - ・ 23年度発売計画の策定に当たり、このような宝くじの発売が円滑に進むよう、当該宝くじの発売により発売時期の変更を余儀なくされる宝くじを振り替えるための「発売調整枠」を2月に2週間設定。
  - ・ 今後、協議会において、具体的な運用について議論。

## 4 その他

- 発売諸経費(社会貢献広報費、手数料を除く)の削減  
②2 予算 337億円 ⇒ ②3 予算 314億円(▲23億円 ▲6.7%)
  - ・ 宝くじ発売計画を発売実績を踏まえて見直すことにより、無駄な事務経費を削減。
  - ・ 入札効果や在庫圧縮、ポスター作成枚数の見直しなど節減の徹底。
- インターネット販売を含む売上増進策  
インターネット販売について、早期実施の要望が複数団体からあるため、協議会内に検討会を設置し、早期実施を検討。

# 諸外国の富くじ制度の概要

未定稿

国	売上	発行権限	主な発売団体	主な目的	主な使途	備考
日本	9,875億円	都道府県 指定都市	都道府県 指定都市	地方財政資金の調達	地方一般財源	
米国	530.6億ドル (45,690億円)	州	各州の宝くじ団体	州の財政資金の調達	教育関連資金	マサチューセッツ州は州内地方自治体に収益金の大部分を交付
ドイツ	98.0億ユーロ (10,674億円)	州	ドイツ・ロト/トト連合 NKL北西ドイツクラスくじ 南ドイツクラスくじ 各州の宝くじ会社	公益のための資金調達	スポーツ、社会福祉、文化、環境	
カナダ	93.2億カナダドル (7,666億円)	州	各州の宝くじ法人	州の財政資金の調達	医療、教育、社会保障、環境保護、芸術文化、スポーツ、慈善事業	州連携の富くじは各州の売上に比例して配分
イタリア	230.4億ユーロ (25,095億円)	国	イタリア宝くじ協会 ロトマティカ シーサル	公益のための資金調達	社会福祉、文化事業、スポーツ振興、シチリア州財政資金	
中国 (除く香港)	1,060.1億元 (13,145億円)	国	中国福利彩票発行管理センター 国家体育总局体育彩票管理センター	社会福祉のための資金調達 体育・健康増進のための資金調達	社会保障基金、公益事業、高齢者扶助、障害者扶助 体育事業	収益金は50:50の割合で中央政府と地方政府に配分
スペイン	118.2億ユーロ (12,874億円)	国	富くじ及びゲーム会社(L.A.E.)	国の財政資金の調達	スポーツ振興、赤十字、対がん協会、視覚障害者支援機構への助成	
フランス	100.0億ユーロ (10,892億円)	国	フランスゲーム社	公益のための資金調達	公益事業、助成事業の運営	
イギリス	51.5億ポンド (6,997億円)	国	キャメロットグループ株式会社	公益のための資金調達	地方財源、スポーツ奨励、芸術品購入、環境又は青少年プロジェクト	
ギリシャ	58.6億ユーロ (6,383億円)	国	財務省国営くじサービス部	公益のための資金調達	社会保障	
スウェーデン	172.5億スウェーデン クローナ (2,048億円)	国	AB Svenska Spel(国営)	公益のための資金調達	スポーツ、青少年育成	認可を受けたNGOは富くじの発行ができる